

「心の災」を打ち破る一年に！

明けましておめでとうございます。昨年を表す漢字一文字は「災」に決まったようです。確かに地震や台風そして豪雨などの被害が甚大で、未だに復興の目途がたたないところも多いと聞いています。一日も早い復興を心より念じています。一方、この災害と同様に気にかかるのが「心の災」です。厳しい環境の現実、懸命に対応しようとしている国民の努力には敬意を表しますが、今一度、私達は、自分一人で生きているのではなく、周りの方々に支えられて生きていることを自覚し、今日の平和な社会に過ごせていることに感謝しながら生きたいものです。その為にも御遠忌以降本寺の座右の銘としている「徳」の文字に込めた「人徳・業徳・国徳」の意味を思い起こし、平和な社会が続くことを念じています。

人徳：人は、一人だけで生きているのではなく、周りの沢山の方のおかげで生きている→生かされている

業徳：企業は経営者だけでなく、株主・従業員・取引先・地域住民の事も考えて

国徳：国の平和や繁栄は、他国の犠牲の上に成り立ってはならない

いよいよ今年、鐘樓の改修に着手



本寺の現在の梵鐘は、昭和22年に壇信徒有志の発議により、文化勲章受賞者の香取秀真（カトリホツマ）氏の監修の下、桑名の中川鑄造所で制作されたものです。

しかし、その後、鐘樓の土台が緩み始め、現在では鐘樓の地盤そのものが南西に大きく15cm以上傾き、地盤のコンクリートも大きく地割れを起こしています。従って大地震が起きる前に瓦の葺き替えも含めて早急な修理が必要な状況だということをお知らせしました。昨年皆様に鐘樓改修を含む事業に一軒当たり2万円以上の懇志をお願いしたところ、趣旨をご理解頂き、懇志の納入は順調に進んでおります。

平成31年(2019年)の主な行事

1月：1日－修正会、年賀ご挨拶
2日－村内ご挨拶
3日－松本道場修正会
・報恩講
15日－御正忌・お汁講、
全体役員会
25日－祥月経、役員会
2月：2日・3日－松本道場永代経
25日－祥月経、役員会
3月：25日－祥月経、役員会
29日・30日－春季永代経
30日－春季御繙き、
顯正寺・他所物故者法要
4月：25日－祥月経、役員会
5月：25日－祥月経、役員会
6月：25日－祥月経、役員会
7月：25日－祥月経、役員会

8月：8日～15日－お墓勤め
14日－歓喜会・お盆ご挨拶
13日－東日野大念仏
15日－西日野大念仏
24日－地藏盆
25日－祥月経、役員会
9月：15日－お汁講、全体役員会
20日・21日－秋季永代経、
放光寺物故者法要
20日－御繙き
25日－祥月経、役員会
10月：25日－祥月経、役員会
11月：25日－祥月経、役員会
12月：7日－報恩講
25日－祥月経、役員会
31日－除夜の鐘

謹んでお悔やみ申し上げます

顯正寺、放光寺の壇信徒の方で、昨年浄土に往生された方は次の通りです。謹んでお悔やみ申し上げます（敬称略）

大平 さが (95歳) 1月 8日 (放光寺)
古川 謙一 (89歳) 1月 31日 (放光寺)
島田 かね (86歳) 2月 6日 (顯正寺)
宮崎 一夫 (66歳) 3月 18日 (他所)
堀口 月子 (85歳) 3月 19日 (放光寺)
古川 妙子 (90歳) 3月 25日 (放光寺)
田中 照子 (88歳) 4月 8日 (顯正寺)
岸本 秀敬 (87歳) 4月 12日 (他所)
廣田 ゆり子 (71歳) 4月 12日 (顯正寺)
川島 徳治郎 (82歳) 5月 6日 (顯正寺)

後藤 とし (96歳) 5月 18日 (放光寺)
伊藤 儀子 (78歳) 6月 5日 (顯正寺)
後藤 雪子 (85歳) 7月 10日 (松本)
横山 正道 (74歳) 8月 9日 (顯正寺)
平井 静 (89歳) 9月 14日 (放光寺)
北川 喜代子 (84歳) 9月 17日 (顯正寺)
後藤 國俊 (81歳) 9月 17日 (他所)
久納 文子 (96歳) 10月 10日 (他所)
平井 寿勝 (80歳) 11月 30日 (放光寺)
石崎 霧子 (93歳) 12月 9日 (他所)